

環境学委員会環境思想・環境教育分科会  
環境教育における体験の再検討小委員会（第25期・第1回）

議 事 要 旨

1. 日 時 令和4年7月20日（水）15:00～17:00
  2. 会 場 遠隔会議
  3. 参加者（敬称略：50音順）：井上真理子、太田 和彦、奇二 正彦、  
工藤由貴子、関 礼子、土方 圭、馬奈木俊介  
欠席 河野 哲也  
\*委員8名中7名の出席により会議は成立した
  3. 議 題
    - (1) 委員長・副委員長・幹事の選出  
委員長に井上真理子委員、副委員長に河野哲也委員、幹事に太田和彦委員、奇二正彦委員が選出された。
    - (2) 小委員会の趣旨説明と今後の活動方針の決定  
今後1年間の活動で、委員の多様な学術的バックグラウンドを活かしつつ、体験の意義を明らかにする。報告・議論を重ねて、2023年6月頃のシンポジウム開催、シンポジウム成果の報告を経て、意志の表出に向けた案を9月頃までに明確にする。
    - (3) その他  
体験をめぐる議論の頭出しを行った。体験の定義、関連する概念の整理、都市部と地方の体験の格差、情報化社会のなかでの体験不足、教科学習における「体験」「実習」の現状と課題、学校外での「体験」を通して得られる力、体験学習のプログラム化の弊害、NPO活動やビジネスを通じた体験活動の動向など、論点が示された。  
次回は、9月開催を予定して日程調整を行う。9月の議案は、①「体験」の定義や関連概念について、各委員からメモを提出してもらい議論する、②委員1名から関連報告を予定する。
  4. 配布資料  
なし
- 追記 議事録の委員長一任、委員間のメールアドレス共有 承認